

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京農工大学
設置者名	国立大学法人東京農工大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
農学部	生物生産学科	夜・通信	10	11	5	26	13	
	応用生物科学科	夜・通信			9	30	13	
	環境資源科学科	夜・通信			6	27	13	
	地域生態システム学科	夜・通信			17	38	13	
	共同獣医学科	夜・通信			44	65	19	
工学部	生命工学科	夜・通信	18	5	23	46	13	
	生体医用システム工学科	夜・通信	8	3	2	13	13	
	応用化学科	夜・通信			4	15	13	
	化学物理工学科	夜・通信			4	15	13	
	機械システム工学科	夜・通信			18	5	26	49
	知能情報システム工学科	夜・通信	8	3	16	27	13	
	応用分子化学科	夜・通信	10	2	4	16	13	
	有機材料化学科	夜・通信			1	13	13	
	化学システム工学科	夜・通信			3	15	13	
	物理システム工学科	夜・通信			1	13	13	

	電気電子工学科	夜・通信			17	29	13	
	情報工学科	夜・通信			6	18	13	
(備考)								
農学部								
	生物生産学科	新カリ	1 1 単位	旧カリ	1 5 単位	合計	2 6 単位	
	応用分子化学科	新カリ	1 3 単位	旧カリ	1 7 単位	合計	3 0 単位	
	環境資源科学科	新カリ	1 3 単位	旧カリ	1 4 単位	合計	2 7 単位	
	地域生態システム学科	新カリ	1 1 単位	旧カリ	2 7 単位	合計	3 8 単位	
	共同獣医学科	新カリ	1 1 単位	旧カリ	5 4 単位	合計	6 5 単位	
工学部								
	生命工学科	新カリ	2 7 単位	旧カリ	1 9 単位	合計	4 6 単位	
	生体医用システム工学科	新カリ	1 3 単位	旧カリ	0 単位	合計	1 3 単位	
	応用化学科	新カリ	1 5 単位	旧カリ	0 単位	合計	1 5 単位	
	化学物理工学科	新カリ	1 5 単位	旧カリ	0 単位	合計	1 5 単位	
	機械システム工学科	新カリ	2 8 単位	旧カリ	2 1 単位	合計	4 9 単位	
	知能情報システム工学科	新カリ	2 7 単位	旧カリ	0 単位	合計	2 7 単位	
	応用分子化学科	新カリ	0 単位	旧カリ	1 6 単位	合計	1 6 単位	
	有機材料化学科	新カリ	0 単位	旧カリ	1 3 単位	合計	1 3 単位	
	化学システム工学科	新カリ	0 単位	旧カリ	1 5 単位	合計	1 5 単位	
	物理システム工学科	新カリ	0 単位	旧カリ	1 3 単位	合計	1 3 単位	
	電気電子工学科	新カリ	0 単位	旧カリ	2 9 単位	合計	2 9 単位	
	情報工学科	新カリ	0 単位	旧カリ	1 8 単位	合計	1 8 単位	
2019 年度の工学部改組に伴い、生体医用システム工学科、応用化学科、化学物理工学科及び知能情報システム工学科を新設した。また、生命工学科及び機械システム工学科は、2018 年度までも存在していたが、改組した。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

以下の URL に公表している。

https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/course/syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京農工大学
設置者名	国立大学法人東京農工大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.tuat.ac.jp/outline/executive/presidentshis/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	文部科学省職員	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	総務・財務担当
(備考) 2020年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施します。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京農工大学
設置者名	国立大学法人東京農工大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各学部のシラバス・時間割</p> <p>次年度開講されるすべての科目について授業計画(シラバス)作成依頼を1月に行い、各担当教員は全学で承認されたシラバス作成方針に基づいたシラバスを学務情報システムに入力する。</p> <p>その後、シラバス作成方針に則って、教養科目についてはグローバル教育院において、専門科目については各学部において、シラバスが適切な記載となっているか点検を行い、修正が必要な場合は修正を行っている。その後、3月末までに、次年度開講科目(後期開講の非常勤講師担当科目等、一部の科目を除く)の点検済みのシラバスを公表することとしている。</p> <p>また、時間割について、3月末までに、次年度開講される科目を通年公表することとしている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>http://spica.gakumu.tuat.ac.jp/syllabus/SearchMain.aspx?</p> <p>https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/course/syllabus/index.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「単位認定の方針について」</p> <p>本学のシラバスに「成績の評価方法」という項目があり、そこを参照することにより、学生に単位付与の条件を明確に記載し、その条件に沿って成績評価を行っている。</p> <p>また、授業中の態度が悪い等の理由により、学習意欲が低い学生について、該当学生の所属する学科内で情報共有を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>G P A算出方法</p> <p>履修登録した各科目の成績を5段階(S, A, B, C およびD) 評価して、それぞれに4, 3, 2, 1および0の評価点を与え、各科目の評価点に単位数を乗じた合計を履修登録した科目の単位数の合計で除して算出した値です。</p> <p>計算式は以下のようになります。</p> <p>G P A算出式：(授業科目の評価点×単位数) の総和／授業科目の履修登録単位数</p> <p>また、客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料については、状況の把握とその活用に向けて準備を始めている。学部/学科別の成績分布集計結果を学内で公表、加えて、各学部長に学部全科目の成績分布結果を周知するとともに、各教員に担当科目の成績分布表を配布し、成績評価の改善を図っていく予定である。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>【農学部】 農学部履修案内 P11 に掲載 https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/risyu_nogakubu.pdf</p> <p>【工学部】 工学部履修案内 P28 に掲載 https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/2019risyu_kogakubu.pdf</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学の農学部及び工学部のディプロマポリシーについては以下のとおりとする。</p> <p>農学部のディプロマポリシー</p> <p>A 幅広い基礎学力・柔軟かつ論理的な思考力を有していること (学力・知識・思考)。 B 高度な専門的知識を持つこと (理解・専門・発展)。 C 科学的な研究手法を身につけていること (技術・分析力・考察力)。 D 社会的倫理観やコミュニケーション力を備えていること (関心・意欲・態度・表現)。</p> <p>工学部のディプロマポリシー</p> <p>A 工学系学部の卒業生に相応しい自然科学に関する基盤的学力を身につけていること。 B 各学問領域で求められる学識を身につけ、原理・原則に基づいた論理的思考と洞察する能力を備えていること。 C 志向の立場から、持続的な問題解決・研究開発を行う姿勢を身につけていること。 D 技術者、研究者として国内外で必要となるコミュニケーション能力と教養を身につけていること。</p> <p>上記のディプロマポリシーを達成することを必須としている、また、卒業の認定については、学則等に定めており、修業年限以上の期間在学し、各学科ごとの教育課程に定める以下の3つの項目を満たしているか否かを教授会において審査し、すべてを満たした場合に卒業を認定している。</p> <p>1) 科目区分別ごとの最低修得単位数を満たしているか。 2) 必修科目をすべて修得しているか。 3) 卒業要件単位数を満たしているか。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>【農学部】 https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/policy/h29/3policy_nougakubu29.pdf</p> <p>農学部履修案内 P9～10 に掲載 https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/risyu_nogakubu.pdf</p> <p>【工学部】 http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/policy/2019/3policy_kougakubu2019.pdf</p> <p>工学部履修案内 P26～27 に掲載 https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/2019risyu_kogakubu.pdf</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京農工大学
設置者名	国立大学法人東京農工大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.tuat.ac.jp/outline/jyouhoukougai/houjin/zaimu/
収支計算書又は損益計算書	http://www.tuat.ac.jp/outline/jyouhoukougai/houjin/zaimu/
財産目録	
事業報告書	http://www.tuat.ac.jp/outline/jyouhoukougai/houjin/zaimu/
監事による監査報告(書)	http://www.tuat.ac.jp/outline/jyouhoukougai/houjin/zaimu/

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称:平成31年度国立大学法人東京農工大学年度計画 対象年度:2019年度)
公表方法: https://www.tuat.ac.jp/outline/kei_hyou/tyukimokuhyououtou/plan_nendo/
中長期計画 (名称:国立大学法人東京農工大学の中期計画 対象年度:2016~2021年度)
公表方法: https://www.tuat.ac.jp/outline/kei_hyou/tyukimokuhyououtou/cyuuki_20100401/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ・事業年度ごとの業務実績報告と評価 (各年度) https://www.tuat.ac.jp/outline/kei_hyou/tyukimokuhyououtou/houjinyouka/ ・認証評価の自己評価書 (H25年度実施) https://www.tuat.ac.jp/outline/kei_hyou/ninsyohyouka1/hyokasyo/ ・自己点検評価書 (令和元年度実施) 外部評価の評価結果を9月頃にホームページへ公表予定
--

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法: https://www.tuat.ac.jp/outline/kei_hyou/ninsyohyouka1/h_25.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法： http://web.tuat.ac.jp/~kitei/act/frame/frame110000068.htm ）
（概要） 【農学部】 農学部においては、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに専門の学芸を教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させて優れた能力を有する人材を養成することを目的とする。 【工学部】 工学部においては、工学分野の科学技術に関する基礎、専門知識・技術、専門性を発揮するために役立つ論理的思考力、表現力、多様性を受容する力や協働性を育む教養を学ぶ機会を提供する。主体性を持って人生を切り開いていくために必要な専門性と、人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく表現することができる能力を有する人材を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： 【農学部】 https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/policy/h29/3policy_nougakubu29.pdf 【工学部】 http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/policy/2019/3policy_kougakubu2019.pdf
概要） 【農学部】 農学とそれに関連した食料・生命・資源・環境に関わる自然科学・人文社会科学について、 A 幅広い基礎学力・柔軟かつ論理的な思考力を有していること（学力・知識・思考）。 B 高度な専門的知識を持つこと（理解・専門・発展）。 C 科学的な研究手法を身につけていること（技術・分析力・考察力）。 D 社会的倫理観やコミュニケーション力を備えていること（関心・意欲・態度・表現）。 【工学部】 工学部においては、工学分野の科学技術に関する基礎、専門知識・技術、専門性を発揮するために役立つ論理的思考力、表現力、多様性を受容する力や協働性を育む教養を学ぶ機会を提供する。主体性を持って人生を切り開いていくために必要な専門性と、人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく表現することができる能力を有する人材を養成することを目的とする。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： 【農学部】 http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/policy/h29/3policy_nougakubu29.pdf 【工学部】 http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/policy/2019/3policy_kougakubu2019.pdf

(概要)

【農学部】

カリキュラムは、幅広い分野の専門科学技術を重視しており、大きくは教養科目と専門科目に分かれます。教養科目は将来の専門性の素養を磨きながら豊かな人間性を培うことを目的としています。学科専門科目には、学科の特色を出した講義科目と併せて、知識を実際に体得するための実験・実習・演習科目が開設され、きめ細かく専門的な教育を行います。共同獣医学科は6年制、他の学科は4年制です。

【工学部】

教育課程は、「樗（ケヤキ）型教育による工学系知的プロフェッショナル人材の育成～専門性の幹を育て、多様性の枝を広げる」に沿って編成されている。自分のメジャーとなる専門あるいは学問分野を理解しやすい学科名のもと、各学科が複数の学問分野を包含するよう工夫し、専門性を確立し、ダイバーシティを増す社会を生き抜く学際性の涵養にもつながる教育課程となっています。

4年間で学ぶ科目群は、「教養教育科目」「専門基礎科目」「専門科目」からなる。専門性の幹を育てるために1年次1学期から専門基礎科目の勉強を始め、多様性の枝を広げるために3、4年次で教養教育科目や学内インターンシップを履修することが可能である。3年次3学期の研究室体験配属、4年次の卒業論文を通じて、自主的・主体的に計画を立て、研究を遂行する能力を養う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法）：

【農学部】

https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/policy/h29/3policy_nougakubu29.pdf

【工学部】

http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/policy/2019/3policy_kougakubu2019.pdf

(概要)

【農学部】

I. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。

II. 人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、日本語で他者にわかりやすく表現できる者。 III. 地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、これらの問題解決に立ち向かう意欲を持つ者。 I. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。

II. 人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、日本語で他者にわかりやすく表現できる者。 III. 地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、これらの問題解決に立ち向かう意欲を持つ者。

【工学部】

I. 大自然の真理に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、理工学分野の科学技術に関心があり、身に付けた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、持続可能な社会の実現に立ち向かう意欲を持つ者。

II. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

<https://www.tuat.ac.jp/outline/overview/organization/kikouzu/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	7人	—					人
大学院	—	130人	133人	23人	39人	0人	325人
その他	—	16人	31人	7人	3人	0人	57人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		234人					234人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.tuat.ac.jp/research/db_2013/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
①毎年4月に、新任教職員研修を開催し、新たに本学の組織の一員となった教職員が本学の教育・研究を理解することを奨励している。また、教員と職員の連携、ならびに相互理解をすすめている。							
②大学グローバル化への支援事業として、英語によるFD研修を年2回実施し、教育・研究における国際化推進を目指している。							
③授業アンケートの結果を分析した資料を教員に随時フィードバックし、教育改善に努めている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
農学部	300人	318人	106%	1,270人	1,383人	108.9%	若干名	3人
工学部	521人	542人	104%	2,224人	2,412人	108.5%	70人	67人
合計	821人	860人	104.8%	3,494人	3,795人	108.6%	若干名 +70人	70人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
農学部	320人 (100%)	180人 (56.3%)	123人 (38.4%)	17人 (5.3%)
工学部	588人 (100%)	458人 (77.9%)	116人 (19.7%)	14人 (2.4%)
合計	908人 (100%)	638人 (70.3%)	239人 (26.3%)	31人 (3.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
【農学部】				
(進学先) 東京農工大学、東京大学				
(就職先) 国家公務員、地方公務員、(株) コーセー、永大産業(株)、(株) 明治、タマノイ酢(株)、				

シンジェンタジャパン(株)、エーザイ(株)、NOSAI、三鷹獣医科グループ、大和ハウス工業、住友林業、パシフィックコンサルタンツ、独立行政法人日本原子力研究開発機構等

【工学部】

(進学先) 東京農工大学、東京大学、東京工業大学、東京医科歯科大学

(就職先) 第一三共、エステー化学、キャノン、村田製作所、三菱電機、オリンパス、デンソー、三井物産、ブリヂストン、キューピー、花王、富士フィルム、日立製作所、トヨタ自動車、パナソニック、IHI、日本電気、スバル、テルモ、富士通、ヤフー、野村総合研究所、パイオニア、三菱重工業、東京ガス等

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
農学部	321人 (100%)	261人 (81.3%)	53人 (16.5%)	6人 (1.9%)	1人 (0.3%)
工学部	544人 (100%)	452人 (83.1%)	74人 (13.6%)	17人 (3.1%)	1人 (0.2%)
合計	865人 (100%)	713人 (82.4%)	127人 (14.7%)	23人 (2.7%)	2人 (0.2%)
（備考）上記の数値は2015年度入学生について算出した。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>（概要）</p> <p>次年度開講されるすべての科目について授業計画（シラバス）作成依頼を1月に行い、各担当教員は全学で承認されたシラバス作成方針に基づいたシラバスを学務情報システムに入力する。</p> <p>その後、シラバス作成方針に則って、教養科目についてはグローバル教育院において、専門科目については各学部において、シラバスが適切な記載となっているか点検を行い、修正が必要な場合は修正を行っている。その後、3月末までに、次年度開講科目（後期開講の非常勤講師担当科目等、一部の科目を除く）の点検済みのシラバスを公表することとしている。</p> <p>また、時間割について、3月末までに、次年度開講される科目を通年公表することとしている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>（概要）</p> <p>【学修の成果に係る評価】</p> <p>単位認定の方針について、本学のシラバスに「成績の評価方法」という項目があり、そこを参照することにより、学生に単位付与の条件を明確に記載し、その条件に沿って成績評価を行っている。また、授業中の態度が悪い等の理由により、学習意欲が低い学生について、該当学生の所属する学科内で情報共有を行っている。</p> <p>【卒業の認定に当たっての基準】</p> <p>本学の農学部及び工学部のディプロマポリシーについては以下のとおりとする。</p> <p>農学部のディプロマポリシー</p> <p>A 幅広い基礎学力・柔軟かつ論理的な思考力を有していること（学力・知識・思考）。</p> <p>B 高度な専門的知識を持つこと（理解・専門・発展）。</p> <p>C 科学的な研究手法を身につけていること（技術・分析力・考察力）。</p> <p>D 社会的倫理観やコミュニケーション力を備えていること（関心・意欲・態度・表現）。</p> <p>工学部のディプロマポリシー</p> <p>A 工学系学部の卒業生に相応しい自然科学に関する基盤的学力を身につけていること。</p> <p>B 各学問領域で求められる学識を身につけ、原理・原則に基づいた論理的思考と洞察する能力を備えていること。</p> <p>C 志向の立場から、持続的な問題解決・研究開発を行う姿勢を身につけていること。</p>

D 技術者、研究者として国内外で必要となるコミュニケーション能力と教養を身につけていること。

上記のディプロマポリシーを達成することを必須としている、また、卒業の認定については、学則等に定めており、修業年限以上の期間在学し、各学科ごとの教育課程に定める以下の3つの項目を満たしているか否かを教授会において審査し、すべてを満たした場合に卒業を認定している。

1) 科目区分別ごとの最低修得単位数を満たしているか。

2) 必修科目をすべて修得しているか。

3) 卒業要件単位数を満たしているか。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
農学部	生物生産学科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
	応用生物科学科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
	環境資源科学科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
	地域生態システム 学科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
	共同獣医学科	202 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
工学部	生命工学科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
	生体医用システム 工学科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
	応用化学科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
	化学物理工学科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
	機械システム工学 科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
	知能情報システム 工学科	130 単位	有	前期又は後期 各 28 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法: 必要に応じて、留学プログラムの奨学金順位に活用している。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法:

<http://www.tuat.ac.jp/outline/jyouhoukoukai/kyouikukenkylu/>

【農学部】農学部履修案内 P89～92 に掲載

https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/ri-syu_nogakubu.pdf

【工学部】工学部履修案内 P147～149 に掲載

https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/2019risyu_kogakubu.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
農学部	全学科	535,800円	282,000円	17,000円	その他の金額は検定料
工学部	全学科	535,800円	282,000円	17,000円	〃

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 【農学部及び工学部】 学生相談室の開設や、学科・専攻等ごとに教育委員、学生生活委員を配置（クラス担任も配置）し、一身上・学習上の問題などについて、学生が相談しやすい体制を取っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 【農学部】 就職ガイダンスを実施するとともに、学生が進路や就職について個別に指導・助言を受けられる場として、就職相談室を設置し、豊富な経験と知識を有する相談員による進路や就職に関する相談を実施。また、企業情報の収集等が可能な場として、就職情報コーナーを設置。さらに、進路選択や就職活動の進め方などの情報提供を行うため、各種ガイダンスを実施。（例えば、大学院説明会、インターンシップ講座、公務員説明会、仕事研究講座、留学生向け就職ガイダンスなどを開催。） 【工学部】 学生が進路や就職について個別に指導・助言を受けられる場として、進路・就職相談室を設置し、豊富な経験と知識を有する相談員による進路や就職に関する相談を実施。また、企業情報の収集等が可能な場として、就職情報コーナーを設置。さらに、進路選択や就職活動の進め方などの情報提供を行うため、各種ガイダンスを実施。（例えば、ドクター進学説明会、インターンシップ準備講座、業界職種研究講座、企業別説明会などを開催。）
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 【農学部及び工学部】 学生の修学に係る支援において、保健管理センターと連携し情報共有を図り、また、適宜専門員等の紹介を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： http://www.tuat.ac.jp/outline/jyouhoukoukai/kyouikukenkyyu/
【農学部】 https://www.tuat.ac.jp/department/agriculture/
【工学部】 http://www.tuat.ac.jp/department/engineering/